

言語学、心理言語学、認知科学

教授 水本 豪
Go Mizumoto

現在の研究テーマと内容

一般的な音声学・言語学に関する内容から、実験心理学的手法による人間の言語処理過程まで幅広いテーマを扱います。最近では、分野を問わず、種々のデータサイエンスの手法を用いた解析についての相談も受け付けています。現在進めているプロジェクトは主に以下の2つです。いずれも九州内の言語聴覚士のみなさんや他大学の研究者と一緒に進めている研究で、日本学術振興会・科学研究費補助金による助成を受けて行っています。

研究1 健常者及び脳損傷者の言語運用にみられる言語属性（単語属性・文字属性）の影響

研究2 言語聴覚障害児者の言語・認知機能評価に向けた心理学的・言語学的研究

これらの研究では、直接見ることはできないヒトのことばやこころの働きについて、いかに客観的な指標で捉えるかという「可視化」が重要になります。既存の指標がなければ新たな指標を作るといことも行うため、新たな言語属性の探索、まだ数値化されていない言語属性のデータベース化、既存の主観的言語属性の因子構造の解析、言語検査の作成といった仕事にも従事しています。基本的に、子どもからお年寄りまで、幅広く ことばやこころから「ヒトを科学」しています。

これまでの研究成果と今後の展開

詳細な業績については、こちらをご覧ください。

- 熊本保健科学大学・研究者紹介（最近の5つくらいを掲載）
<https://gyoseki.acoffice.jp/khsuhp/KgApp/TOP>
- Researchmap（水本豪）
https://researchmap.jp/go_mizumoto



大学院を目指すみなさんへメッセージ

大学院修士課程は本当にあっという間です。その一方、修士課程で身につける基礎力はその後の研究力に大きくかかわってきます。この短い時間をどう過ごすかは、みなさんがどのようなプランをもって学ぶかにかかっています。働きながら大学院を目指す方にとっては特に重要な問題となりますので、働きながらでも研究が進められるよう、しっかりとした計画を立ててください。

上記のテーマにかかわらず、一緒に研究をしたいという方は、遠慮なくご連絡ください。

E-mailアドレス mizumoto[at]kumamoto-hsu.ac.jp ([at]を@に変換すること)